

住む人・使う人が主人公！

私たちは住む人・使う人の
立場に立って設計しています。
お気軽にご相談下さい。

京都建築事務所

〒 604-8083

京都市中京区三条柳馬場東入中之町10

代表取締役社長 川下 晃正

TEL (075) 211-7277

FAX (075) 211-7270

<http://www.kyoto-archi.co.jp/>

人間らしい生活・文化を勝ちとるために！

社会保障 レボリューション

いのちの砦・社会保障裁判

井上英夫（金沢大学名誉教授）

藤原精吾（弁護士）

鈴木 勉（佛教大学教授）ほか編者

社会保障レボリューション
いのちの砦・社会保障裁判

著者 井上英夫・藤原精吾・鈴木勉・井上英夫・井上英夫



A5判 288頁
定価：本体2000円＋税
ISBN978-4-901793-77-3

私が推薦します

渡辺 治

（横大学名誉教授）

社会保障はいのちの砦です。
貧困とたたかい、国の政治を変えさせた人びとがいます。
強行される制度改悪・予算削減、そして生存権理念の否定。
命とくらしを脅かす政治を立て直し、朝日・堀木訴訟から
社会保障裁判を学び、人権としての社会保障の旗を掲げ、
今たたかいを進めている仲間と交流し、連帯し、「社会保障
レボリューション」を起しましょう。それがこの本です！

高学出版

〒604-0092 京都府京都市中京区新町通丸太町下ル大炊町196-215 TEL 075-222-6743



Umeå Seiko (ウメオへ行こう) !

スウェーデン・ウメオ市の人口は約121,032人。2月の平均の最高気温は-4℃、最低気温は-11℃です。ウメオ大学の学生が34,200人、大学スタッフが4,200人。まさに大学都市です。この大学で研究されている武内一さん（佛教大学教授）を訪ねて、スウェーデンの福祉を学び交流しに行きました。

(写真：高倉弘士、文：下野祇園)



ウメオ市内のプレスクールを視察。とくにこの学校では、聴覚障害のある子どもたちも一緒に学んでいます。手話は第二言語として学び、授業のサポートだけでなく、下の写真のように授業前や後に子どもたちが過ごす場所も提供されています。

日本から学びに来ましたと紹介。子どもたちのおもな関心は、日本製のゲームのことでした（写真上段）。



Kärnhuset（シャンフーセ）は精神障害のある方々が日中活動と過ごす場です。かつては自治体の運営でしたが、いまは協同組合で運営しています。職員は19名で、市の補助と、自分たちで作ったものを販売して運営しています。クリスマスや夏休みなど、みんなが集うときに、精神障害をもつ人たちは孤立するケースが多く、そうしたときこそ、開けていますよ！ スウェーデンでは、障害区分や種別はありません。





上の写真は、今回の視察でお世話になった、ウメオ大学のイヴァルソン教授（左）と元教師のエヴァさん（中央）、そして武内さん（右）。イヴァルソン教授宅でランチパーティーを催していただきました。

下の写真は、武内さんが研究しているグローバル・ヘルスの研究室の方々です。私たちはあいさつかわりに“原爆を許すまじ”を歌いました。

●特集● 福祉現場に春風がまioriた Part.2

舞い降りた春風とともに福祉現場で生きる 編集主幹 8

座談会 10

学生／上里知香、阪口結衣、高橋ゆきの、坂東玲音、森川乃愛
司会／赤塚千香代、米田優也

“保育者”としての自分づくりを準備しつづけた2年間

代田盛一郎 28

意欲ある若手を受け止められる現場であってほしい

鴻上圭太 30

福祉の仲間になったあなたへ

澤村 直 32

あたらしく保育士さんへなられるみなさんへ

渡辺久美子 36

友だちになろう

太田修平 38

●トピックス●

海外視察 in 学研都市ウメオ 高倉弘士 39

参加者の学び 45

京都西陣のわらじ医者 夫婦トーク 編集主幹 50

●連載●

【新連載】社会福祉研究に人生あり！

相澤與一 58

出生の地について

相談室の窓から

制度の矛盾が子どもに強いる困難

青木道忠 62

育つ風景 避けて通れないうんちの悩み

清水玲子 64

「助けて！」って言ってもええねんで！

生活保護基準引き下げを何としても阻止したい

徳丸ゆき子 66

【新連載】ひととしてあたりまえに生きたい

清田 廣 68

父の戦死、戦後の貧困

映画案内 『ナチュラルウーマン』

吉村英夫 70

現代の貧困を訪ねて

願いはふつうに暮らすことなのに、また生活保護引き下げ!?

生田武志 72

似らすとれーしょん道場 似顔絵まんがアート

スポーツ精神はいいもんじゃ～！

ラッキー植松 74

ホームレスから日本をみれば

ありむら潜 76

花咲け！男やもめ

川口モトコ 77

●表紙の絵●
神門やす子



ろうの世界へようこそ

みなかわ
あ い
ろうの看護師 皆川 愛さん

私は「聞こえない」ことを障害とは思っていません。ろう者である両親から受け継がれた「ろう文化」をもつ文化的存在だと認識しています。「ろう文化」に帰属意識をもつ、ろう者は、音がない一見静かな世界の中で、見せたり、響かせたりして、コミュニケーションをはかり、生活を送っています。

たとえば、拍手は、手をたたくのではなく、手をひらひらさせます。音の抑揚は、手の動きの大きさや速さで表現できます。呼ぶときは、机をトントンたたいたり、電気をバチバチさせたりします。程度が強ければ、緊急あるいは、怒りの感情が包括されているといったようなぐあいです。そして、彼らの言葉は手話です。手と表情、肩の動きなどを駆使して語り、目で話を聞きます。手話は音声言語とは異なる統語規則を備えた言語と実証されています。

ろう文化の世界は、音はありませんが、響きが目に見えてきます。欧米を中心に発展した「ろう文化」という概念は、日本では一九九六年に木村・市田のろう文化宣言によって発信されました。しかし、歴史的に社会は多数者である聴者、すなわち「聞こえる文化」を中心に成り立っています。

近年、ショッキングな出来事がありました。あるろう者に、がんの再発による転移が見つかりました。医師は抗がん剤治療を治療法として示しましたが、しかし電話ができないならその治療はできないと言ったのです。電話を連絡方法とする習慣がない彼女は、「ファックスならば」と答えました。すると、医師は「電話でなければならぬ。家族は？」と問い詰めました。彼女の夫もろう者であるため、「電話はむずかしいです」と率直に返しました。すると、再度「抗



みなかわ あい

東京都出身のろう者。2015年に看護師、養護教諭一種免許を取得。同年より、埼玉にあるろう者のための特別養護老人ホーム「ななふく苑」の入居者や、日本聴覚障害者ソーシャルワーク協会の派遣事業にてろう者の入院患者への看護に携わってきた。それらの経験から、ろう者への予防医療の必要性を痛感し、ろう者学と公衆衛生学を学ぶため、2018年よりアメリカにあるギャロデット大学の国際学生プログラム（ISSP）を履修中。

がん剤は無理ですね」と言われたのです。医師は、副作用が発症したときにすぐ連絡が必要だと言うのです。彼女は治療をあきらめました。がんの治療について安心して相談できる人がいなかったのでしょうか、彼女はそのことをだれにも話ませんでした。ある日、彼女はろうのがんサバイバーに出会い、自分の経過を話したところ、セカンドオピニオンを勧められました。別の病院で「電話の可否は抗がん剤治療に影響しないので大丈夫ですよ」と言われ、転院し、すぐに治療をはじめました。しかし、無治療の六か月。再発後のがんの進行は恐ろしいものです。そして、彼女は程なくして、この世を去られました。

この問題の背景は、聴者文化への同化を強いるとする、社会的多数者の無意識の抑圧にあると考えています。聴者には、連絡方法＝電話という生活様式がありますが、ろう文化ではこの方程式はありません。米国のろう文化の研究者であるハンフリーズは、白人が優れているとみなすといったレイシズム（人種主義）があるように、聞こえることがあたりまえという優勢的思想や差別行為をオーディズム（聴能主義）と指摘しています。このオーディズムは、電話ができないなら無理だ、聞こえないならわからなくていいだろうといった、多数者による排他的行為に多々見られます。

多くの人間は自分の文化のモノサシで相手を見てしまいがちです。そのため、自分と相手との文化のズレに気がつきにくいものなのかもしれません。人と接する際は、自分のモノサシからいったん手を離し、相手の文化に目を開いて、耳を澄ませ、心を傾け、聴く（目＋耳＋心＝聴）ことが大切だと考えています。

特集

舞^まい降^おりた春風とともに福祉現場で生きる

わたしは この春から 生まれたばかりの風となって

福祉の現場に舞い降りることにしました

学校で多くのことを学び 実習で 子どもたちやお年よりから そして 先輩たちから

福祉現場で働く楽しさや厳しさを 教えてもらって

風として 舞い降りることができるようになりました

わたしは この仕事で社会で いきることにしたのです

新米の風で どこに向かって吹くのやら まだまだわかりません

でもこの仕事で生きることを決めたのです

みなさん よろしくお願ひします





わたしたちは、この春に舞い降りてきた風を迎い入れ

一緒に福祉現場で生きることになりました

実習や面接とは違って 少しは風らしくなったようです

福祉の現場には 冷たい雨も雪も降りますが 春の風といっしょに

現場で 子どもたちやお年よりを上げましともに過ごしたい

じっくりとほちほちでいいんです

わたしたちのなかまになってくれてありがとうございます

編集主幹

